

県南農林だより No.41

6月発行

～ふくしまから はじめよう「食」と「ふるさと」新生運動ニュース～



👉 新緑の新旧雪割橋 (西郷村)

雪割橋を中心とした一帯は雪割渓谷と呼ばれ、新緑・紅葉の名所として知られています。

今年5月に5代目の雪割橋が開通しました。

紅葉の季節にぜひ訪れてみては！！

(4代目:手前、5代目:奥)

🟢 この号の内容 🟢

👉 所長新任あいさつ

👉 新規採用職員の紹介

農林業関係の動き

👉 福島県GAP(FGAP)認証書交付式を行いました！

👉 令和3年度森林病害虫等被害対策県南地区連絡協議会を開催しました！

👉 「矢祭山みどりの少年団」結団式と稚鮎の放流が行われました！

👉 令和3年度JA夢みなみTAC指導員・営農指導員出発式が開催されました！

👉 林業普及指導員地区別研修を実施しました！

コラム

👉 県南地方の農産物直売所 ～直売・カフェ ころや～

👉 直売・カフェ ころやの6次化商品

お知らせ

👉 農作業中の熱中症に注意しましょう！

👉 新型コロナウイルス感染症の支援などに係る情報



県南地方には、おいしい！珍しい！こだわりの！6次化商品がたくさんあります！！
そんな6次化商品を今号からちょっとずつ紹介します！👉

所長新任あいさつ



4月に県南農林事務所長に着任しました前田洋(まえだひろし)と申します。県南地方は3年ぶり3回目の勤務となります。県南農林だより「令和3年」最初の発行にあたりご挨拶申し上げます。

県南地域は関東地方に隣接した中通り地方の最南端に位置し、東北新幹線や東北自動車道など交通の大動脈が通っていることから、東北地方の玄関口に位置し、阿武隈川、久慈川、鮫川の源流域を有する豊かな自然に恵まれた地域であります。

農業では、水稲はもとより西白河地方を中心にトマトやブロッコリーの生産が盛んで県内有数の産地となっているほか、矢祭町のシクラメン、ポインセチア等の鉢花生産、塙町のダリア栽培など各地域で特徴のある取組も行われており、また、肉用牛、乳用牛や豚を主体とした畜産業も盛んな地域となっております。

林業は、東白川地方を中心に素材生産量が県内の約1/4を占めるなど県内有数の林業地であり、現在は森林資源が充実しています。

農林業の振興に向け、第三者認証GAPや農場 HACCP の取得を推進し安全・安心な農林産物の供給に向け引き続き支援してまいります。また、地域農林業の新たな担い手の育成・確保、スマート農業等新技術の導入、農地の大区画化と集積・集約化を通じて、減少する担い手対策及び安定した所得の確保に取り組んでまいります。さらに、6次化や地産地消の推進、農林産物・加工品の消費拡大活動により県南地方の農林産物の魅力を発信し、消費者ニーズを捉えた質の高い農林産物の供給、木材の安定供給及び森林整備促進に取り組んでまいりますので皆様の御理解、御協力を引き続きよろしくお願いいたします。

新規採用職員の紹介

企画部

主事 五十嵐 亜子



農地転用や食品表示法などを担当している企画部の五十嵐亜子です。初めてのことばかりですが1つ1つの仕事を一生懸命頑張っていきたいと思います！ご指導よろしくお願いいたします！

農業振興普及部

技師 源 祐生



作物の振興などを担当している農業振興普及部の源祐生です。目の前の仕事に全力で取り組んでいきたいと思います。よろしくお願いいたします！

森林林業部

技師 長谷川 翼



特用林産物の振興や GAP に関することなどを担当している森林林業部の長谷川翼です。まだまだ至らない所ばかりですが、一生懸命に頑張ります！

農 林 業 関 係 の 動 き

祝

ふくしま県GAP (FGAP) 認証書交付式を行いました!

祝

4月27日(火)、県白河合同庁舎において、ふくしま県GAP(FGAP)の認証書交付式を開催しました。交付式には、アグリSAISUの斎須俊昭氏(白河市)、県立修明高等学校農業科生産流通科3年生の永山真道さん、鈴木脩馬さん、藤田翔羅さんならびに江川教諭が出席され、前田県南農林事務所長より認証書を交付しました。



福島県GAPを取得された斎須氏と
県立修明高等学校のみなさん(前列及び後列中央)

交付式の様子



米の認証を取得した斎須氏は、「今後、県オリジナル新品種「福、笑い」の生産にも取り組みたい」との抱負を語られました。

また、県内の高等学校では第1号のFGAP認定となった修明高等学校の永山さんからは、「農業においてリスク管理をすることの重要性を感じた。将来の就農に向けて一層学んでいきたい。」との力強い言葉がありました。

Check!!

県では、ふくしま県GAP認証制度(放射性物質対策を含めた本県独自の基準に基づき、GAPを実践する生産者・団体を県が認証する制度で、より良い農業の証になるもの)を通して、食の安全性の確保と風評払拭をすすめており、当管内でのFGAP認証取得は15件となっています。

なお、GAPに興味のある方は、当事務所農業振興普及部までお問い合わせください! 【農業振興普及部】

令和3年度森林病虫害等被害対策県南地区連絡協議会を開催しました!

5月11日(火)、白河合同庁舎において、国・県・市町村の担当者、関係機関の代表者による標記協議会を開催しました。

当協議会は、県南管内で毎年発生している松くい虫被害の現状と予防対策について、担当者間の連携を図るため年1回開催しています。特に、松くい虫防除として有効なヘリコプターを使った薬剤散布では、住民の方々に対する周知や安全確認が重要となることから、協議会での説明や意見交換を通じて、その徹底について共通認識を持つことができました。

また、今後管内で被害発生の恐れがあるカシノナガキクイムシによる「ナラ枯れ」や、ニホンジカによるスギ、ヒノキ植栽木の食害や樹皮の剥皮被害などについて、他県の事例を参照しながら、被害の見分け方、防除対策について説明しました。

引き続き、国・県・市町村等関係機関が連携し、県南管内における森林病虫害等被害の拡大防止に取り組んでまいります。



協議会の様子

【森林林業部】

「矢祭山みどりの少年団」結団式と稚鮎の放流が行われました！

稚鮎を放流する様子



4月30日(金)、矢祭町立矢祭小学校の児童3年生から6年生で構成される「矢祭山みどりの少年団」の結団式が行われました。

この少年団は、昭和49年に結成された歴史のある少年団です。今年度は新たに31名の3年生を迎え、団員総数170名での結団式となりました。式には、少年団の育成会会長を務める佐川矢祭町長をはじめ片野矢祭町教育長等が出席し、あいさつや祝辞の後、団長の菊池有夏さんが元気よく結団宣言をしました。

同少年団では、自然散策や清掃・美化活動など様々な活動を計画しています。結団式終了後には、今年度の初めての活動として、3年生児童による稚鮎の放流が久慈川の東橋付近で行われ、爽やかな初夏の訪れを感じられました。

今後も、自然散策や清掃・美化活動など様々な活動を計画しており、少年団の活躍が期待されます。

【森林林業部】

令和3年度JA夢みなみTAC指導員・営農指導員出発式が開催されました！

4月14日(水)、JA夢みなみ営農経済本店において、TAC指導員・営農指導員出発式が開催されました。

出発式では、橋本JA夢みなみ代表理事組合長より、「JAは地域になくてはならない存在となった。本年度は複合経営の普及・推進により米穀、園芸、畜産事業で販売高170億円を目指す。」との挨拶がありました。

また、米と園芸、畜産に取り組む複合経営「販売額1,000万円超」の生産者育成強化、農業所得5%アップに向けた技術支援・経営支援の強化、主力園芸品目(きゅうり、トマト、ブロッコリー)の生産拡大支援と販売強化などが計画として報告されました。

当事務所ではTAC指導員、営農指導員と協力、連携を図り、農家所得の確保と産地の拡大に取り組んでまいります。

Check!! TAC指導員とは？

先進的経営農家や中核的担い手農家との結びつきを強化するために総合的な営農指導や経営相談を実施し、担い手農家の所得向上を図ることを活動の目的としています。



出発式の様子

【農業振興普及部】

林業普及指導員地区別研修を実施しました！

5月10日(月)、泉崎村工業団地内にある「農事組合法人ひかり」の菌床しいたけ栽培施設において、林業普及指導員の研修を行いました。

同法人は、平成30年に設立され、年間550tの菌床しいたけ生産を目標に、培地づくりから培養、収穫、梱包まで一貫して実施しており、県内でも有数の生産規模となっています。

清潔に保たれた施設内で、空調設備により温度、湿度、二酸化炭素を管理できる培養室や、日本に数台しか導入実績のない、しいたけの重さを自動判別しパック詰めするピロー包装機が稼働しています。

また、同法人は、FGAP、JGAP、ASIAGAPをはじめ、有機農産物JAS認証も取得し、食の安全と安心に対する意識の高さが感じられ、今後発展していく企業の勢いを感じることができました。今回学んだことを、今後の普及活動に役立てていきたいと考えております。

県南地方の農産物直売所

～「直売・カフェ ころや」～

今号では泉崎村の「直売・カフェ ころや」を紹介します！！

地域と一番近い直売所という場所で障がいを持つ方々の就労支援・生活支援を目的に、「直売・カフェ ころや」は平成18年に開所しました！食の見直しをコンセプトに、安心・安全・無添加・減農薬を意識した野菜、お菓子などが所狭しと並びます！



👉 店内の様子



桃やりんごなどの果物そしてトマトが大人気！ホームページでは生産者のこだわりと思いが紹介されていますのでぜひご覧ください！



併設するカフェでは、からだに優しいヘルシーなランチを食べることができます！

毎日ころやで昼食を食べていた方の糖尿病が改善されたなんて驚きの話も！？
そんなカフェころやのオススメが…

「ここどりのキーマカレー」！！

JGAP 認証の平飼養鶏場で、ストレスをかけず自然に近い状態で育てた「ここどり」を使った鶏の旨みたっぷりのカレーです！！



直売・カフェ ころや

- ・所在地
泉崎村大字泉崎字川畑 37-1
- ・営業時間
10:00～18:00(直売所) 10:00～14:00(カフェ)
Ⓜ 日曜日、年末年始
- ・ホームページ
<http://www.cocoron.or.jp/cafe/whats.cocoroya>



👉 おすすめは JGAP 認証農場「ころんファーム」で作られる農薬を一切使わない玉ねぎとここたま！！
店内にはここたまを使用したお菓子があり、カフェではたまごかけごはんを味わうことができます🍳



↓↓↓ 直売・カフェ ころよの6次化商品 ↓↓↓

JGAP 認証農場のころんファームの平飼養鶏場で育てた「ここたま」を使った素材にこだわり、無添加でやさしく手作りされたこだわりの6次化商品をご紹介します！

マドレーヌ

チョコマフィン



抹茶

#しっとりふんわり

#数種類の味

#220円

ブルーベリー&
クリームチーズ

パウンドケーキ



#たっぷりのドライフルーツ

#ラム酒をしみこませ焼

#750円

カボチャプリン



#添加物なし！

#特別なたまご

#350円

お知らせ

農作業中の熱中症に注意しましょう！

- ☑ 近年の熱中症による死亡者数は増加傾向にあり、今夏も全国的に日々猛暑が続くと予想されます。
- ☑ 農作業を行う際は、帽子を被り、熱を逃がしやすい服装で、できる限り2人以上で作業しましょう。
- ☑ 涼しい場所でこまめに休憩を取り、水分や塩分を補給しましょう。
- ☑ もし作業中に気分や体調が悪くなった場合は作業を中断し、日の当たらない涼しい場所に移動して、水分補給を行い首や脇の下などを冷やしましょう。
- ☑ 応急処置を行っても症状がよくなる場合は、直ちに病院へ行きましょう。



新型コロナウイルス感染症の支援などに係る情報

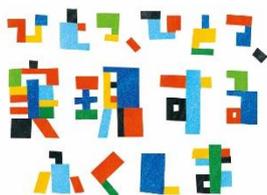
○新型コロナウイルス感染症の影響を受けた農林業者への支援(県農林企画課 HP)
<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36005b/corona01.html>

○コロナウイルス発症時の対応や農林業者等への国の支援等(農林水産省 HP)
https://www.maff.go.jp/j/saigai/n_coronavirus/index.html

○当所の新型コロナウイルス感染症対策に関する相談窓口(8:30~17:15(土日祝日を除く))

農業・林業の経営相談に応じるとともに、対応可能な支援制度を紹介します。

- ・農業に関すること 農業振興普及部 電話 0248-23-1561
- ・林業に関すること 森林林業部 電話 0247-33-2121



お問い合わせ

福島県県南農林事務所 企画部 地域農林企画課

住所 福島県白河市昭和町 269 番地 (白河合同庁舎 4 階)

TEL 0248-23-1576 FAX 0248-23-1590

ホームページ <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36230a/>

